

43 抗がん免疫アジュバントとがんワクチン療法の確立

瀬谷 司

がんの撲滅は人類の悲願である。免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) は、がん治療領域にブレイクスルーを齎した。しかし、対象とならない患者が 80% 以上存在し、また、重篤な有害事象の発生率が 10% 以上という弱点がある。これは抗がん CTL が用意できてい (pre-exist し) ないがん症例が多いことと符合する。本研究では有害事象の無い免疫増強剤の候補として長鎖二本鎖核酸アジュバント (ARNAX) を開発し、マウス移植がんモデルで抗原 + ARNAX が極めて優れた腫瘍寛解に導くことを証明した。加えて ICI に効きが弱い腫瘍モデルでも ARNAX+抗原を (例えば) PD-L1 抗体と併用すれば寛解に導けることを証明した。これまで樹状細胞のプライムアジュバント (CTL を誘導) は認可されていない。本 ARNAX を臨床に導入できればがん患者に新たな治療法を提供することが可能となる。

ARNAX の概略

- A) ARNAX の構造と polyI:C の構造との比較。
- B) ARNAX の機能とサイトカイン毒性を發揮しない特徴。

